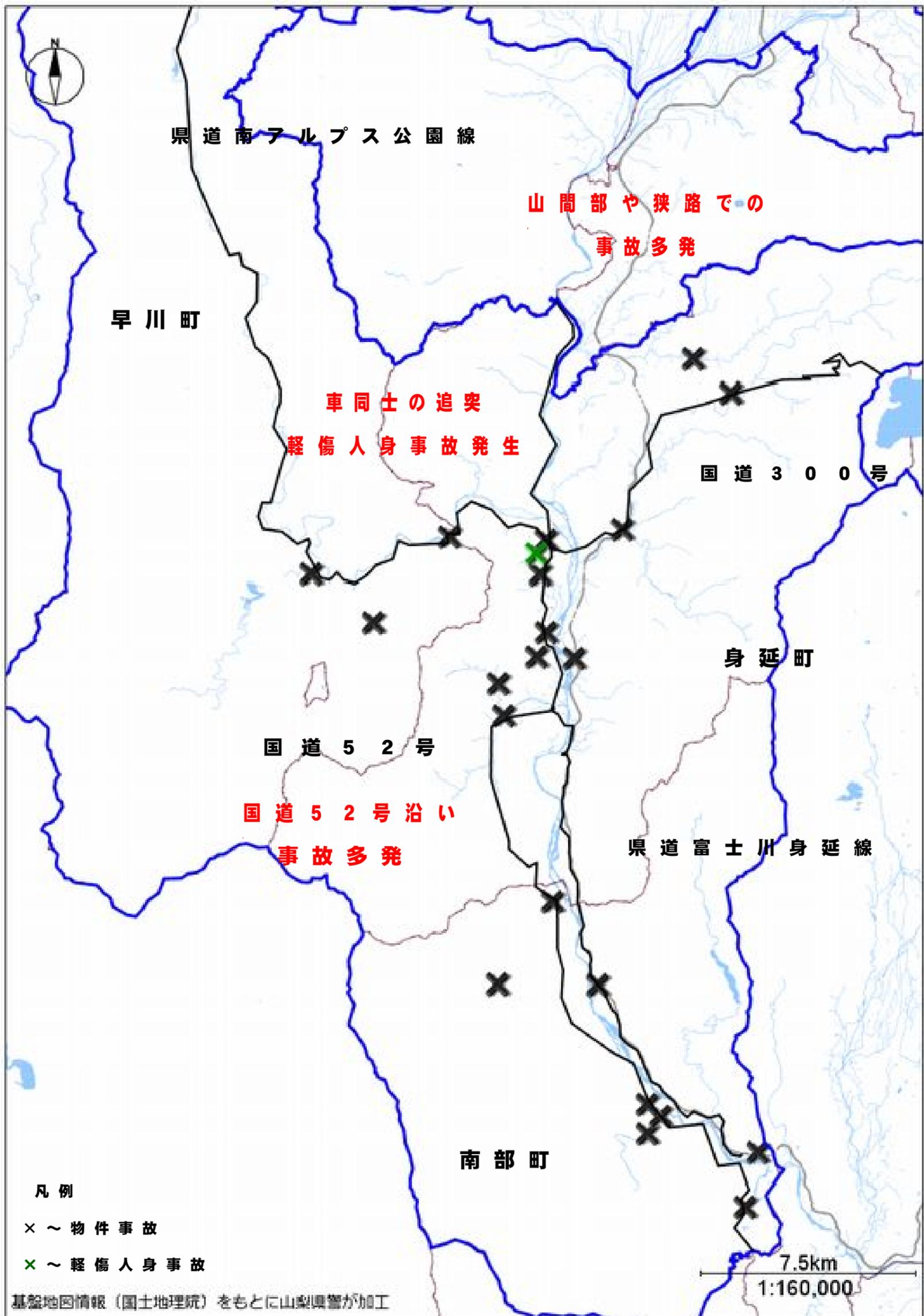
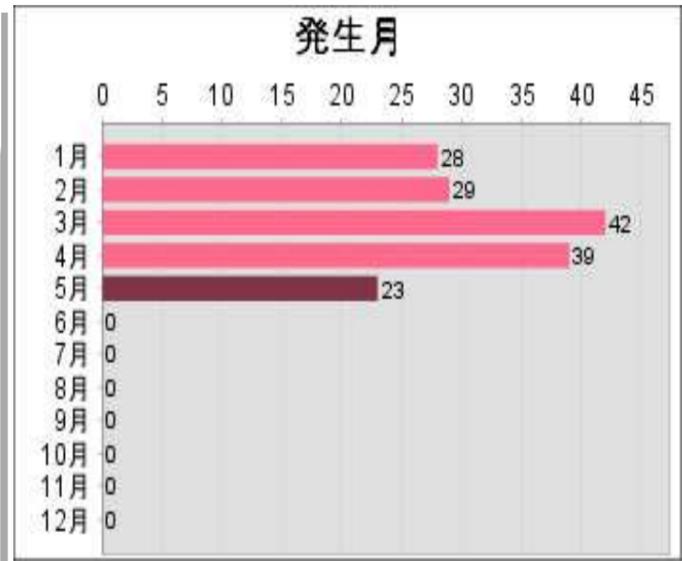


令和6年5月中 南部警察署交通事故件数



## 5月の事故分析

- 発生件数 23 件（先月 39 件）- 16 件  
 怪我のない事故 22 件（先月 37 件）- 15 件  
 怪我のある事故 1 件（先月 2 件）- 1 件
- 5 月中の発生件数は、先月に比べて - 16 件となりました。
- 5 月中は 75 歳以上の方の事故が多く、事故の内容は  
 単独事故と車同士の衝突事故が多く見られました。
- 発生場所については、路線では国道 5 2 号、県道富士川身延線、国道 3 0 0 号で多く発生しています。



## 7月の事故防止ポイント

- 暑さ等による一瞬の居眠りに注意  
 暑さが厳しくなってくると、夜思いうように寝付けず、睡眠不足から日中の眠気を催す危険が高まります。  
 睡眠不足による眠気は、昼食後の時間帯に起こりやすく、一瞬の居眠り（マイクロスリープ）が発生しても運転者自身が気付かない場合があります。  
 眠気を感じた時には無理をせず、早めに休憩し、冷たい飲み物などでリフレッシュしましょう。
- 日差し対策にも注意が必要  
 強い直射日光が眼に入るのを防ぐためにサングラスを使用することがありますが、トンネルなどの暗い場所に入るときには注意が必要です。  
 特に照明が暗いトンネルに入った時にサングラスをしていると前方の自転車などを見落としてしまう危険性があることを意識しておきましょう。  
 偏光度の高いレンズを使用することでまぶしさをカットし、さらに光線の透過率が高く、暗闇でも見えにくくならない運転用のサングラスなどもありますので、眼の弱い方はこちらの使用も検討してみてください。

